



忍耐とチャレンジの令和2年でした。

今年もあと1週間ほどになりました。1月からコロナ感染に一喜一憂し、新しい年度に入っても、学校行事を大きく動かしたり、規模を縮小したりと、まさしく「忍耐とチャレンジ」の年になりました。

コロナ感染拡大で、辛抱しなければならないことが多くありましたが、新たにオンラインでの集会や学校行事のネット配信など、今まででは思いつかない取組にチャレンジすることができました。いつも「新しい時代がすぐそこまで来ているぞ！」と子どもたちに言ってきましたが、本当にそのことが現実化しました。人と人の心のつながりを大切にしつつ、デジタル化に向けて大きくシフトチェンジしていかなければなりません。



来年は「丑年」！牛のように一步一步を力強く歩んでいきたいと思えます。来年もどうぞ啓成中学校の取組にご支援ください。みなさん、よいお年をお迎えください。

GIGA スクール構想に向けて！

皆さん、GIGA スクール構想というキーワードを聞いたことがありますか？本日行われる伊万里市教育研究大会で私がお話した内容から書きたいと思えます。

GIGA スクールとは、「すべての人のための国際化・革新を目指す扉を開くための学校」ということで、義務教育を受ける児童生徒のために、1人1台の学習者用PCと高速ネットワーク環境などを整備する国の5年間の計画です。その目的は、子供たち一人一人の個性に合わせた教育の実現です。そのために、伊万里市でも5億余りの予算が付けられ、令和3年4月から1人1台のタブレットパソコンが整備されます。

これまでも、電子黒板やデジタル教科書、自作のプレゼンテーションを活用するなど、ICT機器の活用を推進してきました。これからは、子供たちに「情報活用能力＝情報を収集し、学習や生活に活かす力」をもっと付けてもらい、「筋道を立てて問題を解決していく力」をつけ、「ソサエティ5.0（ICTが人を支える時代）」を生きる伊万里っ子になってもらいたいものです。我々教師もがんばります。新しい時代に向けて・・・。

GIGAスクール構想

- ✓ 1人1台端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備することで、特別な支援を必要とする子供を含め、多様な子供たちを誰一人取り残さず、公正に個別最適化され、資質・能力が一層確実に育成できる教育ICT環境を実現する
- ✓ これまでの我が国の教育実践と最先端のICTのベストミックスを図ることにより、教師・児童生徒の力を最大限に引き出す

これまでの教育実践の高積 × ICT = 学習活動の一層の充実 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善

啓成の森「花壇」完成！

平成3年の開校当時、登校坂を自然豊かな「啓成の森」にしようと、桜やどんぐりなどの苗木を植え、30年後の今では、立派な「啓成の森」が出来上がりました。しかし、登校坂の下の記念碑の横の花壇が荒れ果てていたため、昨年からは少しずつ整備をしてきました。今年の夏ごろから、地域の方に重機やトラクターで、ふかふかの土を作ってもらいました。本当に感謝です。

そのおかげをもちまして、先週、パンジーやノース



ポールなどの花苗を子供たちと一緒に植え、「啓成の森・花壇」が完成しました。チューリップの球根も植えています。入学式のころにはかわいい花を咲かせてくれるでしょう。寒さに震える子供たちを暖かく見守ってくれるでしょう。